

地域のようすから 東京都文京区

上田さち（機構幹事／文京区担当）

文京区では「区内まるごとキャンパス」を目指して区内19大学との連携を図り、恵まれた教育資源を区民の生涯学習環境に活かす取り組みが、官民一体で進められています。

「文京区教育委員会」や「(公財)文京アカデミー」の後援のもと、文京区で開講されている「学びのポイントラリー」参加プログラムをご紹介します。

1 文京区教育センター

文京区教育委員会が所管する教育センターでは、自然科学・情報科学分野の子ども向け講座・イベントを、土曜日や夏休みなどに開催しています。その中で、小・中学生を対象とする「科学教室」（平成27年度14講座）・「子どもパソコン教室」（平成27年度22講座）、小1～3年生を対象とする「親子理科教室」（平成27年度6講座）、区内大学の先生方を講師にお招きする小4～中学生対象の「子ども科学カレッジ」（平成27年度14講座）の4プログラムが「学びのポイントラリー」に参加しています。

平成27年4月に新しい教育センターの施設がオープンしました。最新式の科学実験室、電子黒板とタブレット型ノートパソコンを無線LANで繋いだ ICT研修室など、恵まれた環境を活かした質の高い科学系の講座が開講されています。詳しくは、教育センターホームページをご覧ください。

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/ed-center/>



教育センター

左：科学教室「電子工作」

右：子ども科学カレッジ
「アジアモンスーン」

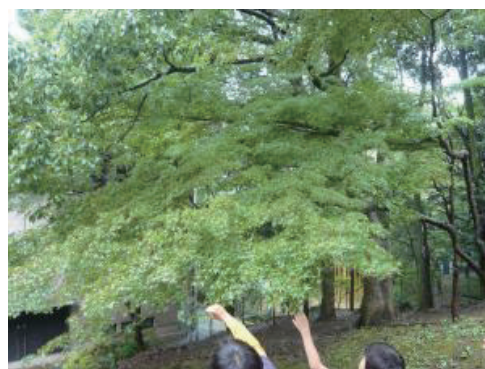
2 文京ecoカレッジ

文京区資源環境部が主催する「文京ecoカレッジ」は、環境や資源の大切さを学ぶ講座です。その中で、次の3プログラムが「学びのポイントラリー」に参加しています。

（1）親子環境教室

地球環境について、親子で楽しみながら学ぶ講座です。環境政策課がNPO等と協働し、小学生と保護者を対象に、学校休業日に開講しています。（平成27年度4講座）

写真下：親子環境教室「もみじの種の観察」



(2) 夏休み親子エコ・クッキング教室

ごみの減量と環境について学びながら、エコ・クッキングにチャレンジする講座です。リサイクル清掃課が民間団体と協働し、小学生と保護者を対象に、夏休みに開講しています。（平成27年度2回実施）



(3) リサイクル夏休みバス見学会

リサイクル関連施設や様々な工場を見学し、身近な環境やリサイクルについて考える講座です。リサイクル清掃課が主催し、小4～中学生と保護者を対象に、夏休みに開講しています。（平成27年度1回実施）



写真右：
夏休み子どもアカデミア
「はっぴょんと
発明してみよう！」



3 夏休み子どもアカデミア

公益財団法人文京アカデミーが、小・中学生を対象に、夏休みに開講するプログラムです。（平成27年度14講座）

（公財）文京アカデミーは文京区全額出資による財団法人です。文京シビックホールや区内生涯学習施設を管理・運営しています。また、一般向けの生涯学習講座を、中学生を除く15歳以上の区内在住・在勤・在学者を対象に、一年を通じて開講しています。詳しくは（公財）文京アカデミーホームページをご覧ください。<http://www.b-academy.jp>

「夏休み子どもアカデミア」では、（公財）文京アカデミーが培ってきた幅広い生涯学習情報資源を活かし、大学・企業・民間団体等が提供する多彩なプログラムを開講しています。また、生涯学習講座の運営を補助する区民ボランティア「文京アカデミアサポーター」が「学びのポイントラリー」のポイント付与など受付業務の担い手となっています。

下：夏休み子どもアカデミア パンフレット



4 みんな集まれ！ こどもの広場

NPO法人環境ネットワーク・文京が運営するプログラムです。市民団体・民間企業・大学などが、こどものために企画した優良な教育プログラムを紹介し、企画団体と共に開催しています。（平成27年度22講座実施）詳しくは、環境ネットワーク・文京ホームページをご覧ください。

<http://www.en-bunkyo.org>



上：東京の湧水探検 下：海の工事現場見学会



5 リサイクルイン文京

文京区のイベントにて、身近な材料を使用し、楽しみながらリサイクルを体験する講座を開講しています。また、「文京ecoカレッジ」にプログラムを提供しています。



プチエコ「リサイクル工作」

6 その他のプログラム

平成27年度はこれまで紹介したプログラムの他に「中央大学サイエンスセミナー」「日本動物学会関東支部公開講演会」が、「学びのポイントラリー」に参加しました。

また、平成27年度から、文京区教育センターにて、東京大学大学院教育学研究科市川伸一研究室との連携による「個別学習相談」が始まりました。認知心理学を活かした認知カウンセリングにより、生徒が効果的な学習方法を自発的に使えるようにしていく個別相談です。

7 地域活動の課題

文京区の課題は、区内の「学びのポイントラリー」参加プログラムの情報を一括し子どもたちと保護者に届ける、広報活動を充実させることです。

文京区では多くの実施団体が質の高い多様なプログラムを提供しており、子どもたちにとって恵まれた環境といえます。しかし、実施団体を統括する組織はありません。そのため、プログラムの広報は、各実施団体が個別に区報等広報紙・各団体ホームページに情報を掲載し、チラシ・パンフレットを作成・配布しています。そこで、子どもたちは特定の実施団体のプログラムのみ繰り返し参加する傾向にあり、区内のプログラムの多様性が個々の子どもの学びの多様性に活かされていません。

この課題に対し、文京区では今後、文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」への情報掲載を充実させ、区内プログラムの一括した広報活動に取り組みます。

地域のようすから 東京都台東区

善財裕美（機構事務局長／台東区担当）

台東区では学びのポイントラリーが開始された当初から登録を行っている団体が継続して子どもたちにプログラムを提供しています。新しい登録団体がないことが、子どもたちにとってはポイントを取得する機会が少なくなり残念だと感じていますが、2015年度に行政の出先機関が実施しているプログラムが登録されたことで、他の機関も登録を検討する方向性を見いだせるのではないかと期待しています。

1 台東区こども環境委員会

行政（台東区環境ふれあい館）と区民ボランティアのコラボレーションで運営する体験型の年間プログラムです。名前の通り「環境」をキーワードに社会のいろいろな分野における環境との関わりを学びます。今年度（2016年度）で開始から17年目を迎えます。

環境問題そのものを学ぶのではなく、自分たちの日常生活がどのように環境とつながっているか？日常生活が環境に影響を与えているとすればその影響を少なくする方法は何なのか。体験を通して「自分で考え、行動する」ことを年間目標としています。

毎年6月に開始され、2月に終了となります。参加者募集の広報や区民ボランティア募集は行政が行います。参加者募集は台東区内すべての小学校に配布されます。ここには学びのポイントラリー登録プログラムであることも明記されています。



プログラム紹介

①開講式 友だちと仲良くなろう

見知らぬ子どもたち同士が身体を動かしつつ友達として馴染んでいくようなワークショップと環境問題に関するある程度の知識を学びます。これから始まる体験が、どのような問題をベースにしているかを知ってもらうためです。



②廃食油で石けんづくり

水と油がテーマです。地球上で循環している水は汚さない配慮が必要。下水に油を流す事による影響を考え、使い終わった油を捨ててしまうのではなく石けんに作り替える体験をします。



③リサイくるくる探検隊「資源の行方を追いかけよう」

区内で資源として収集されたものが、実際にどのように扱われているのか中間処理施設を訪問し、分別作業も体験します。③・④は夏休み中に実施するプログラムなので夏休みの自由研究にも役立つよう配慮しています。



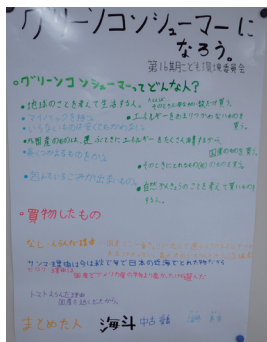
④まちなみウォッチング・まちのごみを科学する

歩道沿いにポイ捨てされたごみを拾い、分別・集計します。現状認識と対策、望ましいまちのあり方を考えてパネルにまとめます。この回は毎年テーマを変えて行います。他には「エレクトリックモンスターを探せ」、「まちのエコ調査」など。



⑤グリーンコンシューマーになろう

環境を考えた日常生活や買い物はどんなものか考えます。スーパーマーケットの協力を得て実際に買いものを体験し、何を考えて購入したかパネルにまとめます。



⑥つくって食べよう！エコクッキング

毎日する食事。材料を買う、作る、食べる、片付ける。それぞれの段階での環境への配慮を体験し、考えます。



⑦エコフェスタに出陣！

台東区の環境イベント。市民団体や事業者が参加しています。自分たちで作った石けんの配布、パネル展示を通して活動を紹介します。



⑧雑木林で木こり体験

日本のCO2削減目標の中にも盛り込まれている「管理された森林でのCO2吸収」。70%近くが森林に覆われている国で森に元気がない。どうしたら元気な森になるか考えお手伝いをします。下草刈り・落葉かき・間伐を体験します。



⑨不忍池で野鳥観察

都会にある自然観察スポット不忍池で飛来する冬鳥の観察をします。双眼鏡の正しい使い方を知り、鳥の特徴の把握の仕方を学びます。



⑩さあ始めよう！私たちに出来ること

それぞれの回で振り返りをしますが最終回では、自分ができること、やりたいことを宣誓します。宣誓は多岐にわたり、可能性の広がりを感じます。受講終了後の中学生・高校生がボランティアとして運営に関わる事もあり頼もしい限りです。



2 春・夏エコ講座

市民団体「台東リサイクルネットワーク」が主催するプログラム。古くなったり、着なくなった洋服や布をリメイクする講座を長期休暇に合わせて開催します。何でも手に入る現代ですが、先人に知恵を学びながら自分の手で作り上げます。



3 わんぱくエコフレンズ

市民団体「台東リサイクルネットワーク」が主催するプログラム。有機農業体験を軸とした親子での年間を通した自然体験を実施しています。

プログラム紹介

①有機農業体験「田植え」

泥の中に裸足で入って行います。田植えを放り出してどろんこになって遊ぶことも時々あります。



②有機農業体験「草取り」

米作りの過程でとても大切な草取り。ここでは1回だけ体験します。

③上野公園でセミの羽化とコウモリの観察

自然観察は都会でも充分に出来ます。台東区にある大きな緑地「上野恩賜公園」には実は自然がいっぱい。コウモリが発する超音波を機器で捕らえ姿を見ます。セミの羽化はこどもより付き添いの大人が魅了されます。



④有機農業体験「稲刈り」

鎌を使って稲刈りをします。農薬を使っていないので、稲の間には蛙やバッタなど生き物がたくさんいます。こどもたちの興味はそちらへ向かいがちです。



⑤里山へ行こう

東京都の緑地保全地域で活動します。地域内を流れる川を遡ったり、山の中の道を歩きます。都市では決して経験できない活動です。

⑥有機農業体験「収穫米で餅つき」

年末の餅つきは農業体験のサポートで田んぼの面倒を見てくださっている皆さんを台東区に招いて行います。餅の丸め方、鏡餅の作りかたなども教えて貰います。

4 わんぱく相撲

東京青年会議所台東区委員会が主催するプログラム。区内の小学生 300 名超の参加があります。

■環境ふれあい館ひまわり 環境学習室

館内で実施するプログラムの登録が 2015 年度終盤から始まりました。今後プログラムが増えていく事を期待しています。

5 今後の課題

台東区内の小学校が土曜日の授業を正式に行っているためにポイントラリー登録プログラムだけでなく、区内の団体が実施するプログラムへの子どもたちの参加が減っている現状があります。社会全体が非常に難しい状況にある今こそ人間力が必要であると考えていますが、参加者の減少には悩まされます。継続こそ力なりと信じて参加者の人間力醸成に役立つプログラムを実施していきたいと思えます。